

区役所の中はどうなっているか



●政府の自粛要請以来、世田谷区長は忠実に従っている感じだが、現場は大混乱でアイデアの一つもない●とにかく、保健所は対応に右往左往（政府の方針が次々に変わるため）●また教育委員会は期末・卒業式の対応で

バタバタ●関係する児童生徒そして保護者の憤りが納まらない●あわせて予算委員会という手続きが重なる●議会を通らないと新年度予算は使えない●かといって、予算案は、新型コロナ発生前が前提となっており、オリンピックも歓声の中、行われるということになっている●もちろん、4月以降の事態の推移に基づいて、補正予算という形で修正することは可能だが、ハッキリ言って、新型コロナの終息は見えないし、おそらく、特効薬のようなものが出るまで確かなことはわからないだろう●故に、今後のことを予算委員会で質問しても、答弁は推測の域を出ないのですが。

ちゃんと言っていた

2019年11月12日 福祉保健常任委員会

けれど新型コロナまで
はわからなかったなあ

●大庭正明委員 国際親善ということは、非常にそれは歓迎すべきことだと思うんですけども、保健所的にいうと、一方で、保健所もしくは厚労省もオリンピックを中心にして、感染症の増大が危惧されていると言っていますよね。それはやっぱり日本みたいな島国みたいなところというのは、ある種一つの壁ができていて、人の移動というのがある程度制限されているからあれだけでも、オリンピックみたいに、一時的に世界各国から、あらゆる地域から人がやってくると、この国においては免疫が強くて大丈夫だけれども、日本人に対しては非常に免疫力が低下していて、非常に爆発するかもしれない。これは目に見えないことですが、それは今、厚労省とか注意喚起していますよね。そういうのもあるわけですよ。

外国の方々が全部ウエルカムというので、その外国の人が悪いわけじゃないですよ。悪いわけじゃないけれども、それはその土地、土地の風土的な病とか、そういうものというのもあって、日本人としてはなかなか初体験というのかな、余り経験のないこともあって、いろいろ国際交流というのは、目に見えない部分でも負の部分も抱えているということなんですけれども、その辺については、まさに保健所の役割と思うんですけども、いかがなんでしょうか。国際交流がどんどん来るということに限して、オリンピックに際しても注意喚起をしていますよね。

◎辻 世田谷保健所長 まず、オリンピックについて申し上げます。今、大庭委員が御指摘のように、オリンピックに関しましては健康危機管理というのが非常に大事になってまいります。一つは、感染症の問題、それから食中毒の問題、あと熱中症の問題もございますけれども、そちらは鋭意今準備をしているところでございますので、実際、オリンピックが来たときにはきちんと対応しようと思っています。

一方で、民泊についてでございます。先ほど来いろんな御議論があったんですけども、保健所のスタンスとしましては、余り誘導的なことは申し上げにくいんですけども、まず住民が安全安心に暮らせるような形の住環境の確保というのを考えて条例を制定してございます。安全安心の安心という部分で不安が払拭できているのかどうかという御議論が委員会の中でございまして、そのときに、区民の委員の方からも不安にさせないでほしいという御意見もありましたし、あと実際にその中で行われていることが国際交流であるとか、いろいろなことを、その内容によらず、その周囲の方々は何を行われているか不安に思うから、先ほど説明者の方もおっしゃったように、周りの方にいろいろ御説明をしていくことが大事で、今まだ知られていないからこれからその普及啓発がとても大事になるというような御意見もございました。

保健所といたしましては、先ほど申し上げたように、やはり住環境の確保という意味では、安全に加えて安心が担保されるということが大事だと思っています。条例については、そのような考え方を踏襲しながら、皆さんの御意見もいただきたいというふうに思っております。

長いあとかき

●世の中が変わってしまった。昨年末、紅白歌合戦で「嵐」のメンバーが新国立競技場で歌っている（録画中継？）姿を見て、2020年は賑やかな年になるだろうと思っていた●だからこそ油断大敵、首都直下地震を忘れるな！という意味から62号を作成●あわせて、世田谷区に被害をもたらした台風19号の検証を含めて、63号を、としているうちに新型コロナが拡大し、多くの人々の生活が全く見通せなくなった●簡単に言えば、正確な情報がない、に尽きる。

うつさぬ用心 咳エチケット
& 手洗い
うつらぬ気配り



正確な情報がないから 何が正しい行動なのか 今は判断できない・・・もどかしさ

●今のところ「手洗い」は正しい、くらいしか確実なことではない●世田谷保健所で確認したところ、インフルエンザの今期の感染者数は例年に比べて激減しているとのこと●毎年インフルエンザで亡くなる人がいることを考えれば、社会的緊張が感染症を拡大させないことのように思えるが・・・●そのためにはPCR検査をもっとした方がいいようにも、一方で検査の正確さや、医療の需給バランスとかの問題も詳細はどうなのだろう。

災害か感染症か

●今回の62号、63号、64号を総合すると、感染症が拡大する中で、首都直下地震が発生したらどうなるのか？という大問題にぶつかる●ただでさえ、台風19号の避難所体制に不備があった世田谷区で、現在のように人の集合を止めている状態が重なったらどうするのだろう●「手洗い」に加えて、もう一つ正しいことがある。それは感染症については初期対応が何にもまして最優先だった、ということ●左は昨年の11月の世田谷区議会の福祉保健委員会の議事録の一部である●私の発言は、念のためにという程度でしか述べていなかったが、今日のような事態を想像できたら、せめてもう少し「日頃から」世田谷区の備蓄としてのアルコール消毒剤等購入を勧めるべきだったろう●そもそも感染症と消毒剤の連想がなかったのが不勉強のそしりを免れないだろう。（世田谷区議会議員 おおば正明）